

令和元年度（2019年度）専門性チェックリスト

熊本県立苓北支援学校 研究部

所属学部：	名前：	記入日： 月 日
-------	-----	----------

■自己評価について

各評価項目について、次の5段階で評価します。

- 5：他の先生に教えることができる程度の知識・技術があり、日々の授業に効果的に生かすことができている。
- 4：知識・技術もあり、日々の授業に効果的に生かすことができている。
- 3：普段の授業実践では困らない程度の知識・技術を持っている。
- 2：知識・技術不足で困ることがある。
- 1：まったくわからない。

		評価項目	
1	児童生徒の実態把握	実態把握の意義・方法について（理論、方法論、教科の視点、自立活動6区分から見た実態把握）	
		児童生徒の実態把握（興味関心、分かっていること、意思の読み取り）	
2	児童生徒の将来像	キャリア教育の視点	本校のキャリア教育の視点
		将来像のイメージ	はまゆう療育園や在宅での児童生徒の生活についての把握
		めざす姿	学校教育目標を踏まえためざす姿の設定
		現在の学習とのつながり	現在の学習と卒業後の生活とのつながり
3	教育課程	本校の教育課程	本校の教育課程についての理解（法的根拠、構成） 生徒の類型選択の根拠（高等部のみ）
		各教科	目標、指導内容の設定の手続き めざす姿と年間目標、学期目標とのつながり 各教科の系統性を意識した授業計画（今後の授業に見通しが持てるか）
	自立活動	自立活動の意義、内容構成（6区分27項目の内容）	
		目標、指導内容の設定の手続き めざす姿と年間目標、学期目標とのつながり	
		各教科との目標、内容の関連	
	合わせた指導		児童生徒の個別の教科の目標を意識した授業計画
	4	授業実践に必要な知識・技能	重度・重複障がい児（者）の学びの道筋・発達段階の理解
身体づくりや動き、姿勢を育てる指導内容・方法			
感覚統合・初期学習・概念行動形成学習における指導内容・方法			
指導方法・教材教具		指導目標を達成するための内容・教材教具の工夫（各教科）	
		指導目標を達成するための内容・教材教具の工夫（自立活動）	
		学習環境の整備（効果的な場の設定や教材教具の提示の方法など） 教材教具作製のスキル	
5	評価	具体的な評価基準の設定	
		記録の取り方と分析の方法	
		評価結果をもとにした課題分析（授業の見直し）	